

	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> ・車両カバンの準備 ・車両点検の実施 ・体温測定 ・作業打ち合わせ (KY活動)各基地に体制と予報の確認 ・各雪水基地に向かい到着後待機 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両カバン内業務用プレート・鍵の有無確認 ・運行前点検 各装備品のチェック搭載備品の有無確認(積荷の飛散防止確認) ・異常がある場合報告し指示を仰ぐ ・各自体調管理を行う ・リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施 ・速やかに出動できる体制をとる
作業開始	<ul style="list-style-type: none"> ・雪水本部より要請があったら出動する ・標識材の設置を行う ・携帯電話にて雪水本部へ出発連絡を行う ・作業現場に出発する ・現場到着後雪水本部に携帯電話にて連絡を行う ・発煙筒を使用し作業を行うその後標識車は規制内に進入する ・規制器具の設置をする ・雪水本部に携帯電話にて連絡を入れる ・チェーン装着規制 ・規制器具の撤収をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業指示を確認する (2名は本線先端に向かい矢印・ラバコン等の準備を発煙筒を使用して行う) ・巡回員および規制員により規制材の設置を行う 本部連絡員は忘れずに巡回員へ指示を行うこと ・標識車は現場に向かう(法則を遵守して安全運転で現場へ向かう) ・交通量に注意し制限速度を守る事 ・内容は「現場到着これよりチェーン装着規制準備に入ります」 ・規制内バック時は誘導を向け発煙筒を使用する ・機材の不備のないよう点検を事前におこない、一般車へ正対し監視員を配置して作業を行う ・内容は「準備完了チェーン装着規制に入ります」又は「チェーン携行確認に入ります」 ・チェーン装着規制説明資料参照 ・規制器具一式(矢印板はその都度きちんと固定し撤退する) ・標識の出し忘れに注意する
作業終了	<ul style="list-style-type: none"> ・雪水本部に終了報告を携帯電話にて行う ・使用車両の給油・洗車・片づけの確認をする ・洗車を行う ・車両カバンの返納 ・終礼の実施 <p>注意事項</p> <p>※車両搭載の規制器具の乗せ替えをきちんとおこなう事 ※各トンネル内規制標識の電源スイッチの入切を必ず行う ※矢印板・標識類が雪で見えなくなるので定期的に取り除く ※作業場所には塩か小袋をまいて安全を確保する</p> <p>・1人作業の禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基地到着後 ・運行後点検 各装備品のチェック搭載備品の有無確認 ・洗車手順書に準ずる ・車両カバン内業務用プレート・鍵の有無確認をしてもらう事 ・リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施

作業編成(標準)	員数	資機材
責任者	1名	標識車
作業員	1名～3名	チェーン規制用機材

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・反射スバツ
発煙筒・黄旗・警告

自動規制装置手順

	内容	留意事項
下り恵那山トンネル西	<p>発煙筒を使用し一般車に注意喚起する。 トンネル内の規制標識の電源スイッチを入れる(内照式)</p> <p>操作盤のふたを開け番号順にボタンを押す(自動規制装置) 一般車の接近が無い事を確認して、番号順にボタンを押す (非常電話の案内表示の二つ目の横(限度)でボタンを押す) 最低車高を200メートル以上取る 通常の矢印板も設置する。</p> <p>解除は通常の解除と同じ。 操作盤のふたを開け番号順にボタンを押す</p> <p>施錠を必ず行う</p>	<p>やけどに注意</p> <p>ON・1 回転等LEDスイッチを入れる 2 1号機張出 3 2号機張出 4 3号機張出</p> <p>格納 1 } 順番を間違えない 格納 2 } 格納 3 }</p> <p>OFF 上がり切ったのを確認したらボタンを押し回転灯LEDを切る</p>
上り網掛峠	<p>トンネル内の規制標識の電源スイッチを入れる。 発煙筒を使用し仮チャパーを作成する。 通常の矢印板も設置する。 一般車の接近が無い事を確認して、番号順にボタンを押す</p> <p>解除は通常の解除と同じ。 操作盤のふたを開け番号順にボタンを押す</p> <p>施錠を必ず行う</p>	<p>やけどに注意</p> <p>ON・1 回転等LEDスイッチを入れる 2 1号機張出 3 2号機張出 4 3号機張出 5 4号機張出</p> <p>格納 1 } 順番を間違えない 格納 2 } 格納 3 } 格納 4 }</p> <p>OFF 上がり切ったのを確認したらボタンを押し回転灯LEDを切る</p>

注意事項

- ・必ず見張り員を置く
- ・異常があったら即連絡を入れる
- ・取扱説明書を良く読む
- ・ボタンを押しても作動しない時は停止ボタンを必ず押す。(止めないとモーターが焼ける)

・1人作業の禁止

作業編成(標準)	員数	資機材
責任者	1名	標識車
作業員	1名～3名	チェーン規制用機材

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・反射スバツ
発煙筒・黄旗・警告